

令和4年度第1回砺波地域医療推進対策協議会  
砺波地域医療構想調整会議及び  
砺波地域医療と介護の体制整備に係る協議の場 次第

日時：令和4年9月28日（水）  
13時30分～  
会場：ア・ミュージーホール

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 地域医療構想について

(2) 砺波医療圏の現状について

(3) 砺波医療圏の新型コロナウイルス医療提供体制について

(4) 各公的病院の取組み状況について

(5) その他

4 閉会

## 【配布資料】

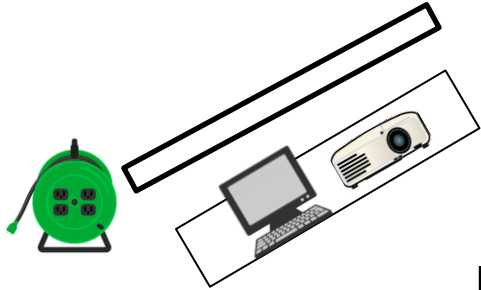
- |        |  |
|--------|--|
| 資料 1   | 地域医療構想について   |
| 資料 2   | 医療需要に変化に、柔軟かつ迅速に対応できる持続可能な医療提供体制の構築（案）                           |
| 資料 3   | 医療機器の共同利用計画の確認について   |
| 資料 4   | 地域医療構想の必要病床数と病床機能報告における医療機能の推移 〈砺波医療圏〉                           |
| 資料 5   | 令和3年度病床機能報告（医療機関別の医療機能報告状況）                                      |
| 資料 6   | 療養病床病床利用率推移、療養病床の平均在院日数の推移、一般病床病床利用率推移、一般病床の平均在院日数の推移、救急車受入件数の推移 |
| 資料 7   | 地域包括ケア病棟新規入棟患者の状況  |
| 資料 8   | 今夏の感染拡大を踏まえた病床確保計画   |
| 資料 9   | 診療・検査医療機関一覧  |
| 資料10   | 厚生連高岡病院PET-CT画像診断施設の現況   |
| 参考資料 1 | 厚生労働省通知概要等   |
| 参考資料 2 | 外来機能報告制度   |
| 参考資料 3 | 令和3年病床機能報告   |
| 参考資料 4 | 定量的基準「静岡方式」  |
| 参考資料 5 | 砺波医療圏 医療療養病床と介護療養病床の許可病床数の推移                                     |
| 参考資料 6 | 管内の病院における患者の利用状況（一般病床）   |
| 参考資料 7 | 砺波医療圏における高度急性期及び急性期機能の届出のあった病棟一覧                                 |
| 参考資料 8 | 在宅医療の体制構築に係る現状把握のための指標   |
| 参考資料 9 | 在宅医療にかかる地域別データ   |

マイク・照明関係

# 砺波地域医療推進対策協議会、砺波地域医療構想調整会議及び 砺波地域医療と介護の体制整備に係る協議の場の合同会議

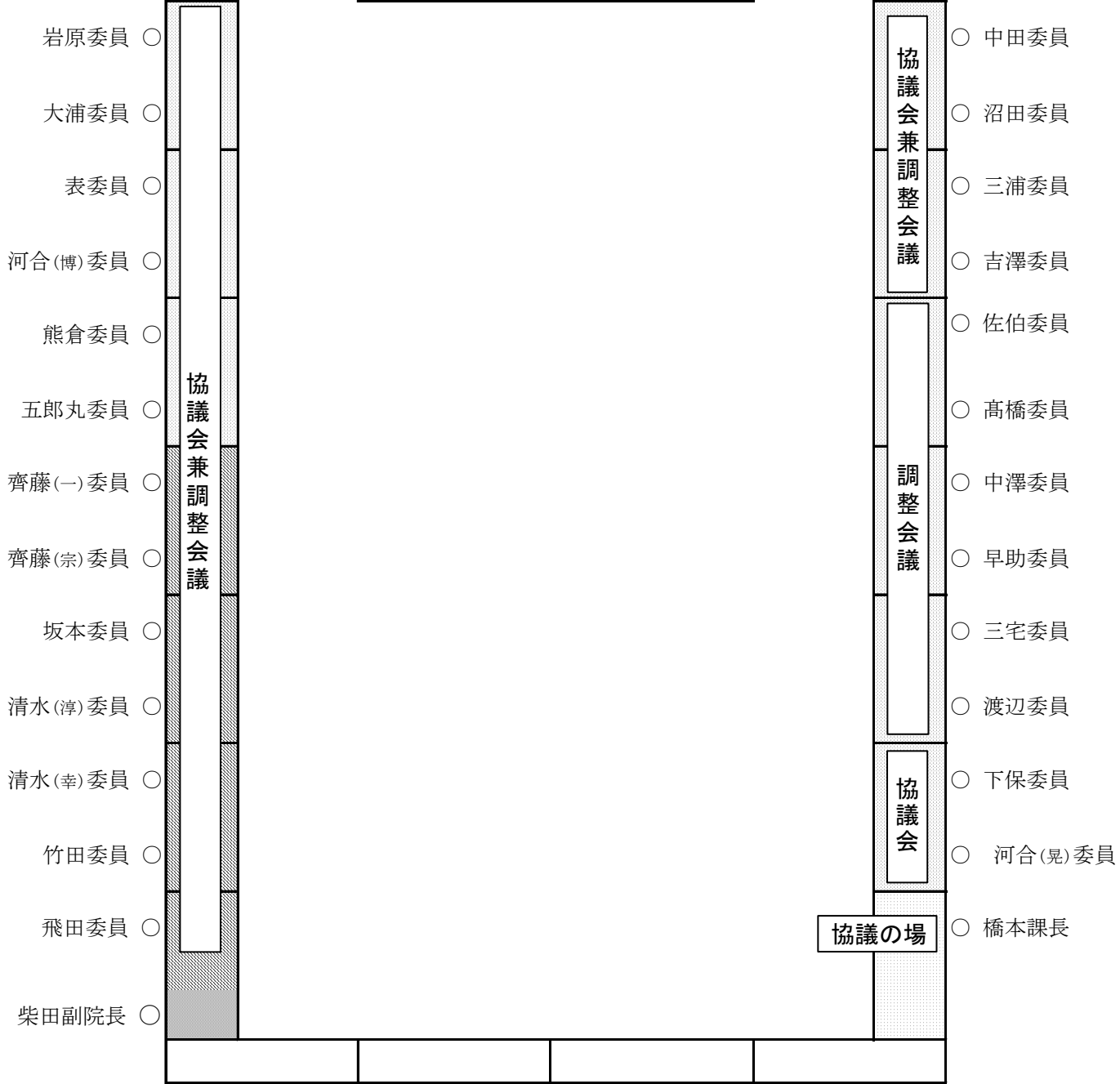
日時:令和4年9月28日(水)  
13:30~

場所:ア・ミューホール

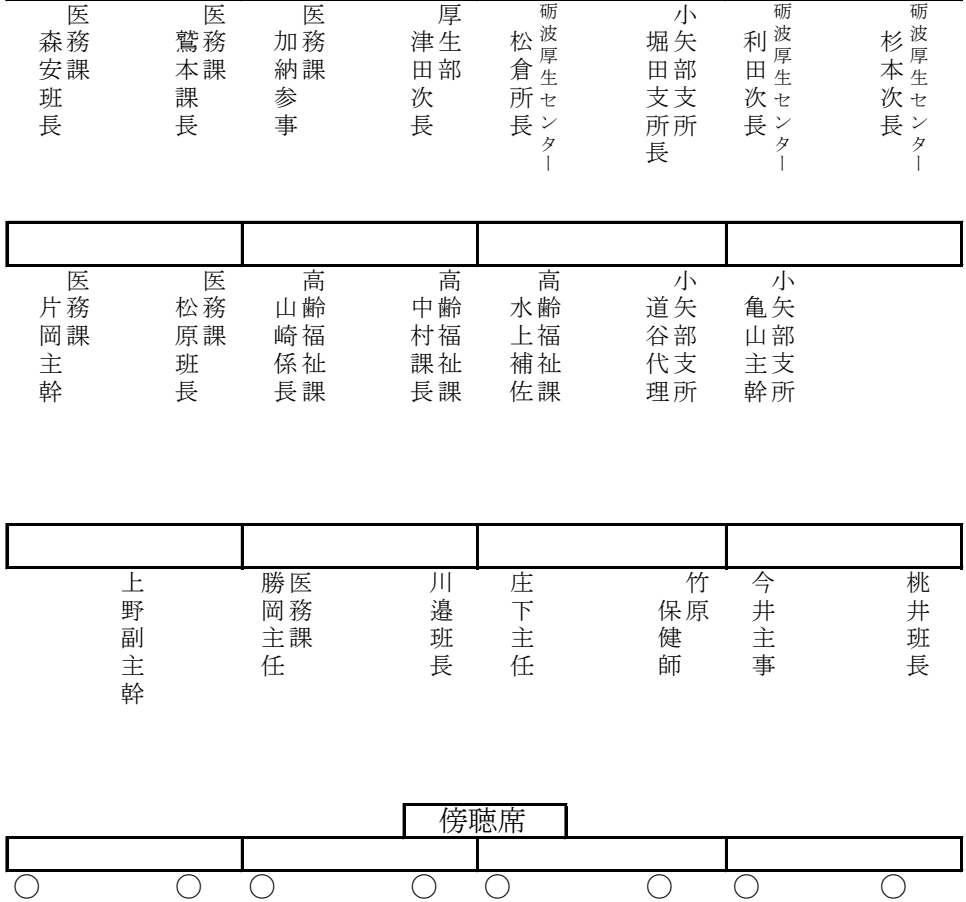


河合副会長 ○  
地域医療構想  
アドバイザー  
馬瀬大助 ○

報道関係者席



入口





# 砺波地域医療推進対策協議会委員名簿

令和4年9月28日

役 職	氏 名	出欠	備 考
砺波市訪問看護ステーション代表	岩原 裕子		
南砺市ヘルスポランティア連絡会副会長	大浦 まる子		
特別養護老人ホーム清楽園施設長	表 富美枝		
砺波地域消防組合消防長	下保 範翁		
富山県医師会理事	河合 晃充		
市立砺波総合病院長	河合 博志		
富山県薬剤師会全砺波支部長	熊倉 和彦		
小矢部市歯科医師会長	五郎丸 知明	代理	小矢部市歯科医師会副会長 津田淳
砺波市副市長	齊藤 一夫		
南砺市副市長	齊藤 宗人		
独立行政法人国立病院機構北陸病院長	坂本 宏	代理	副院長 吉田光宏
富山県歯科医師会理事	澤越 豊	欠	
公立学校共済組合北陸中央病院長	清水 淳三		
南砺市民病院長	清水 幸裕		
小矢部市副市長	竹田 達文		
小矢部市社会福祉協議会理事	飛田 久子		
砺波地方居宅介護支援事業者連絡協議会長	中田 康則		
小矢部市医師会長	沼田 仁成		
砺波医師会長	藤井 正則		
南砺市医師会長	松 智彦	欠	
南砺市さわやかネットワーク副会長	松林 富子	欠	
公立南砺中央病院長	三浦 利則		
南砺市民病院看護部長	吉澤 環		
	委員 計23名 (五十音順)		

# 砺波地域医療構想調整会議 委員名簿

令和4年9月28日

役 職	氏 名	出欠	備 考
砺波市訪問看護ステーション代表	岩原 裕子		
南砺市ヘルスポランティア連絡会副会長	大浦 まる子		
特別養護老人ホーム清楽園施設長	表 富美枝		
市立砺波総合病院長	河合 博志		
富山県薬剤師会全砺波支部長	熊倉 和彦		
小矢部市歯科医師会長	五郎丸 知明	代理	小矢部市歯科医師会副会長 津田淳
砺波市副市長	齊藤 一夫		
南砺市副市長	齊藤 宗人		
富山県国民健康保険団体連合会（小矢部市市民課長）	佐伯 真理子		
独立行政法人国立病院機構北陸病院長	坂本 宏	代理	副院長 吉田光宏
公立学校共済組合北陸中央病院長	清水 淳三		
南砺市民病院長	清水 幸裕		
医療法人社団寿山会理事長（あおい病院）	高橋 暢人	代理	大野 力正
小矢部市副市長	竹田 達文		
小矢部市社会福祉協議会理事	飛田 久子		
全国健康保険協会富山支部 企画総務部長	中澤 昭博		
砺波地方居宅介護支援事業者連絡協議会 会長	中田 康則		
小矢部市医師会長	沼田 仁成		
ゴールドウィン健康保険組合 常務理事	早助 美樹		
砺波医師会長	藤井 正則		会長
南砺市医師会長	松 智彦	欠	
南砺市さわやかネットワーク副会長	松林 富子	欠	
公立南砺中央病院長	三浦 利則		
ふくの若葉病院長	三宅 早苗		
南砺市民病院看護部長	吉澤 環		
小矢部大家病院長	渡辺 多恵		
	委員 計26名（五十音順）		

砺波地域医療と介護の体制整備に係る協議の場 委員出席者名簿  
(砺波地域医療推進対策協議会及び高岡地域医療構想調整会議委員を除く)

令和4年9月28日

職 名	氏 名	出欠	備考
砺波地方介護保険組合 業務課長	橋本 里美		

1名

## 地域医療構想について

### 1. 地域医療構想の今後の進め方について

令和 4 年 3 月 24 日付け厚生労働省医政局長通知「地域医療構想の進め方について」を踏まえ、以下のとおり、地域医療構想を進める。

#### (1) 基本的な考え方

- ・ 2022 年度及び 2023 年度において、地域医療構想に係る民間医療機関も含めた各医療機関の対応方針の策定や検証・見直しを行う。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により病床の機能分化・連携等の重要性が改めて認識されたことを十分に考慮する。
- ・ 2024 年度より医師の時間外労働の上限規制が適用されることを見据え、質が高く持続可能な医療提供体制の確保を図る。
- ・ 病床の削減や統廃合ありきではなく、地域の実情を踏まえ、取組みを進める。

#### (2) 具体的な取組み

- ・ 地域医療構想に係る民間医療機関も含めた各医療機関に、改めて対応方針（機能及び病床）を策定いただき、地域医療構想調整会議において協議を進める。
- ・ 公立病院においては、「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」を踏まえた「公立病院経営強化プラン」を具体的対応方針として策定いただき、地域医療構想調整会議において協議を進める。
- ・ 今年度は、地域医療構想調整会議を各医療圏において 2 回開催する。

### 2. 外来機能報告制度について

地域の医療機関の外来機能の明確化・連携に向けて、データに基づく議論を地域で進めるため、今年度より、医療機関が外来医療の実施状況を報告する「外来機能報告」が開始される。

外来機能報告を踏まえ、地域医療構想調整会議において協議を行い、紹介患者への外来を基本とする医療機関の明確化を図る。

<参考> 各医療圏の第 1 回地域医療構想調整会議開催日程

高岡医療圏：8 月 25 日（木）14:00～15:30

新川医療圏：8 月 30 日（火）19:00～20:30

富山医療圏：9 月 2 日（金）19:30～21:00

砺波医療圏：9 月 28 日（水）13:30～14:30



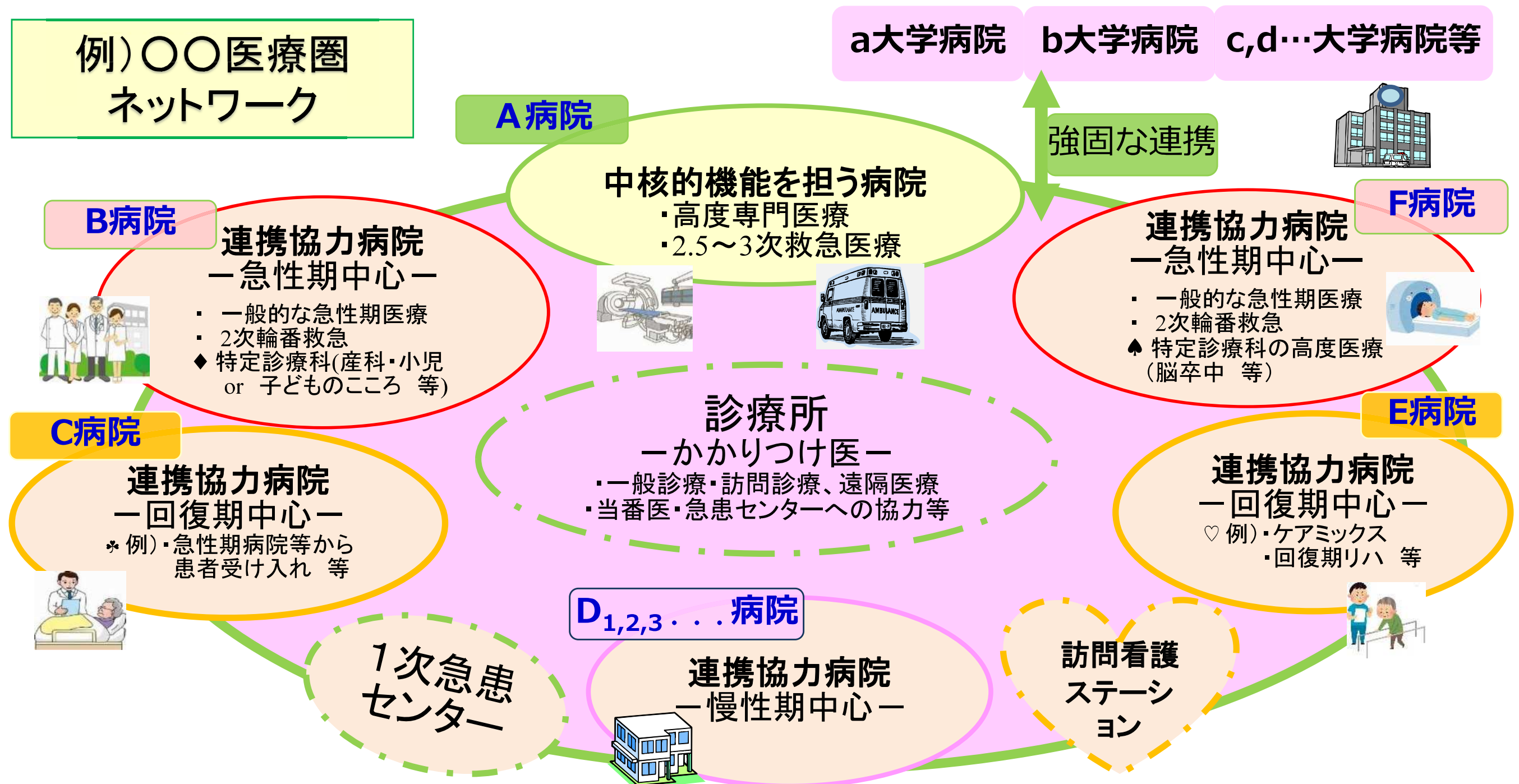


# 医療需要の変化に、柔軟かつ迅速に対応できる持続可能な医療提供体制の構築(案)

資料2

- ① 救急医療の現状や医師確保の状況を踏まえ、医療圏ごとに医療機関の機能分担・連携を協議
- ② 高度専門医療や救急医療を中核的に担う病院と、これと連携協力(地域包括ケア含む)する医療機関のネットワークを強化
- ③ 病院間の競合ではなく、人材・機器・業務効率化の面で協調し、ネットワーク内の医療機関の共生を図る(「勝ち組、負け組」の意識を捨てる。)
- ④ 大学における医師の養成、及び、県内の各医療機関で働く医師の確保のため、魅力ある研修やキャリアパスの作成と実践
- ⑤ 自然災害や感染症パンデミックに迅速に対応できる、ハード及びソフトの整備(⇒リスク分散の視点も考慮) 等

## 例)〇〇医療圏 ネットワーク



## 医療機器の共同利用計画の確認について（砺波医療圏）

医療機関名	所在地	共同利用対象機器	設置年月日	共同利用の有無	共同利用を行わない理由
市立砺波総合病院	砺波市	CT	令和4年1月3日	○	

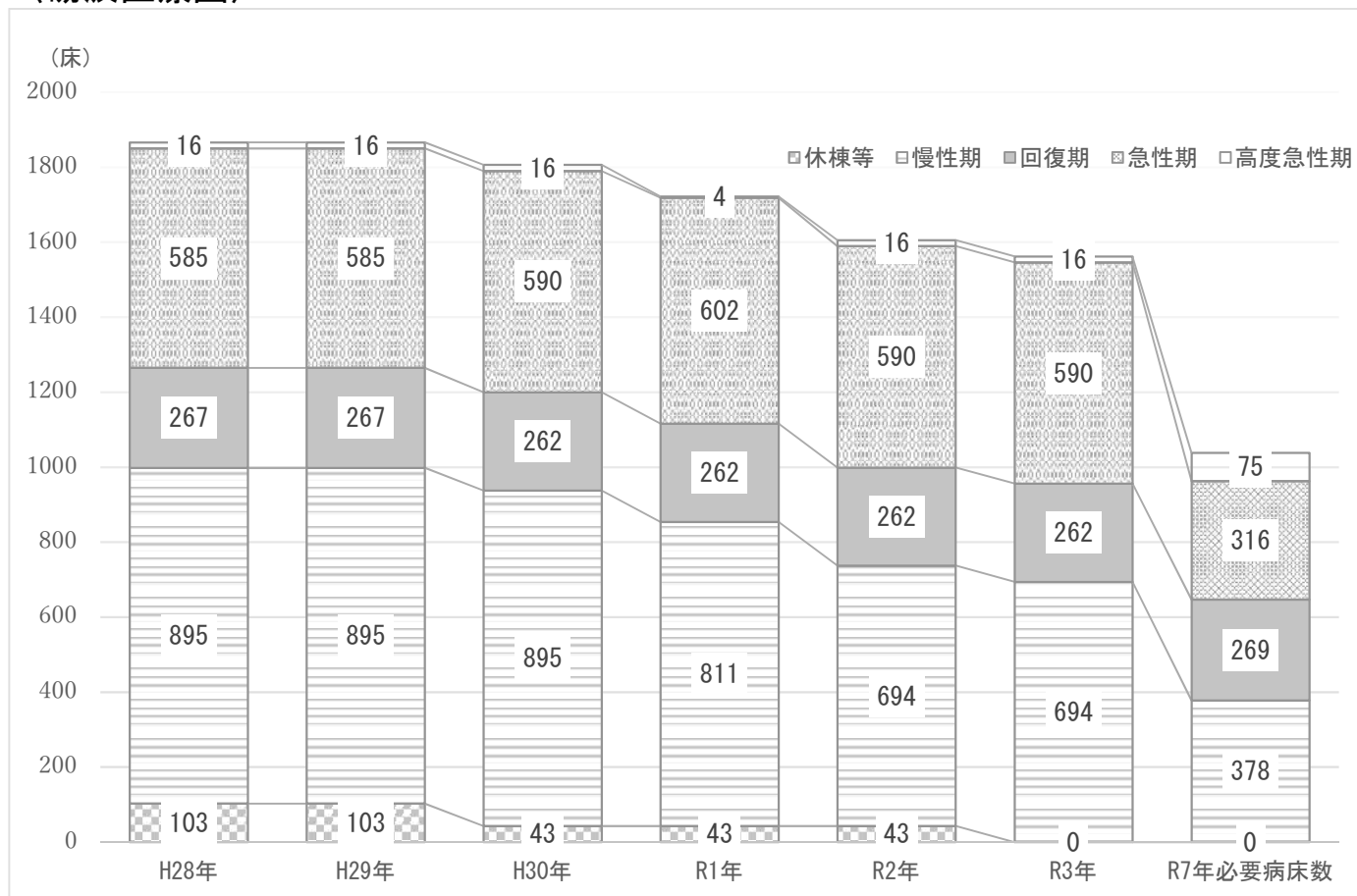
### 【参考】

・富山県外来医療計画において、医療機器の効率的な活用を推進するため、医療機器の配置状況や共同利用状況を把握するとともに、地域医療構想調整会議で共同利用の状況の確認を行うなど、各医療機関の自主的な取組みや医療機関相互の連携の促進に努めることとしている。

・対象となる医療機器は、対象となる医療機器（CT、MRI、PET（PET及びPET-CT）、放射線治療（リニアック及びガンマナイフ）、マンモグラフィ）。



## 地域医療構想の必要病床数と病床機能報告における医療機能の推移 〈砺波医療圏〉



医療機能	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R7年必要 病床数	現状との差
高度急性期	16	16	16	4	16	16	75	-59
急性期	585	585	590	602	590	590	316	274
回復期	267	267	262	262	262	262	269	-7
慢性期	895	895	895	811	694	694	378	316
休棟等	103	103	43	43	43	0	0	0

## 令和3年度病床機能報告（医療機関別の医療機能報告状況）

2021年7月1日時点

医療機関名	全体	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	介護保険施設等	休棟等
あおい病院	96	0	0	0	96	0	0
つざわ津田病院	76	0	0	0	36	40	0
となみ三輪病院	100	0	0	0	50	50	0
ふくの若葉病院	100	0	0	0	100	0	0
公立学校共済組合北陸中央病院	193	0	57	83	53	0	0
公立南砺中央病院	149	0	52	52	45	0	0
市立砺波総合病院	418	16	354	48	0	0	0
小矢部大家病院	34	0	0	0	0	34	0
西野内科病院	63	0	0	0	36	27	0
太田病院	29	0	0	0	29	0	0
砺波サンシャイン病院	100	0	0	0	50	50	0
砺波誠友病院	99	0	0	0	99	0	0
独立行政法人国立病院機構北陸病院	100	0	0	0	100	0	0
南砺市民病院	175	0	96	79	0	0	0
医療法人社団吉岡整形外科	19	0	19	0	0	0	0
津田産婦人科医院	12	0	12	0	0	0	0
計	1,763	16	590	262	694	201	0

※あおい病院 R2.4.1 介護療養病床から療養病床へ転換(12床)

※砺波サンシャイン病院 R1.11.1 介護医療院へ転換(50床)

※つざわ津田病院 R2.4.1 介護医療院へ転換(40床)

※砺波誠友病院 R1.12.1 介護療養病床から療養病床へ転換(4床)

※砺波サンシャイン病院 R1.11.1 介護医療院へ転換(50床)

※市立砺波総合病院 R2.10.8 一般病床461→418床(休棟43床分)

2025年7月1日時点予定

医療機関名	全体	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	介護保険施設等	休棟等
あおい病院	96	0	0	0	96	0	0
つざわ津田病院	76	0	0	0	36	40	0
となみ三輪病院	100	0	0	0	50	50	0
ふくの若葉病院	100	0	0	0	100	0	0
公立学校共済組合北陸中央病院	193	0	57	83	53	0	0
公立南砺中央病院	149	0	52	52	45	0	0
市立砺波総合病院	418	16	354	48	0	0	0
小矢部大家病院	34	0	0	0	0	34	0
西野内科病院	63	0	0	0	36	27	0
太田病院	20	0	0	0	20	0	0
砺波サンシャイン病院	100	0	0	0	50	50	0
砺波誠友病院	99	0	0	0	99	0	0
独立行政法人国立病院機構北陸病院	100	0	0	0	100	0	0
南砺市民病院	175	0	96	79	0	0	0
医療法人社団吉岡整形外科	19	0	19	0	0	0	0
津田産婦人科医院	12	0	12	0	0	0	0
計	1,754	16	590	262	685	201	0

R7年必要病床数		75	316	269	378		
現状との差		59	-274	7	-307		

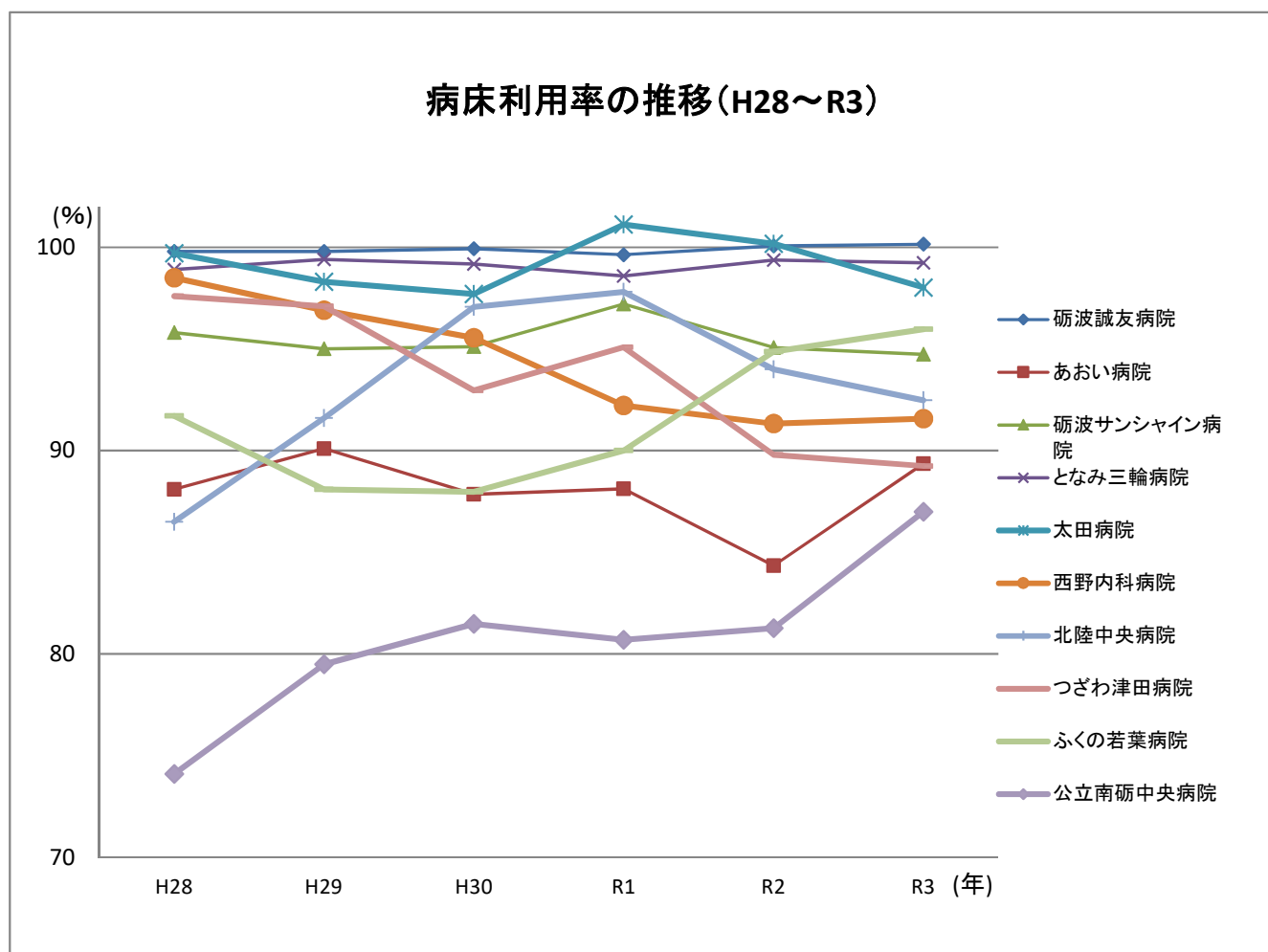
※太田病院 29床 → 20床(予定)

療養病床病床利用率推移 (H28～R3[各年7月～6月])

資料6

	H28	H29	H30	R1	R2	R3
砺波誠友病院	99.8	99.8	99.9	99.6	100.1	100.2
あおい病院	88.1	90.1	87.8	88.1	84.3	89.4
砺波サンシャイン病院	95.8	95.0	95.1	97.2	95.1	94.7
となみ三輪病院	98.9	99.4	99.2	98.6	99.4	99.2
太田病院	99.7	98.3	* 97.7	101.1	100.2	98.0
西野内科病院	98.5	96.9	95.5	92.2	91.3	91.6
北陸中央病院	86.5	91.6	97.1	97.8	94.0	92.5
つざわ津田病院	97.6	97.1	93.0	95.1	89.8	89.2
ふくの若葉病院	91.7	88.1	88.0	90.0	94.9	96.0
公立南砺中央病院	74.1	79.5	81.5	80.7	81.3	87.0
計	93.9	94.0	93.7	93.9	93.1	94.3

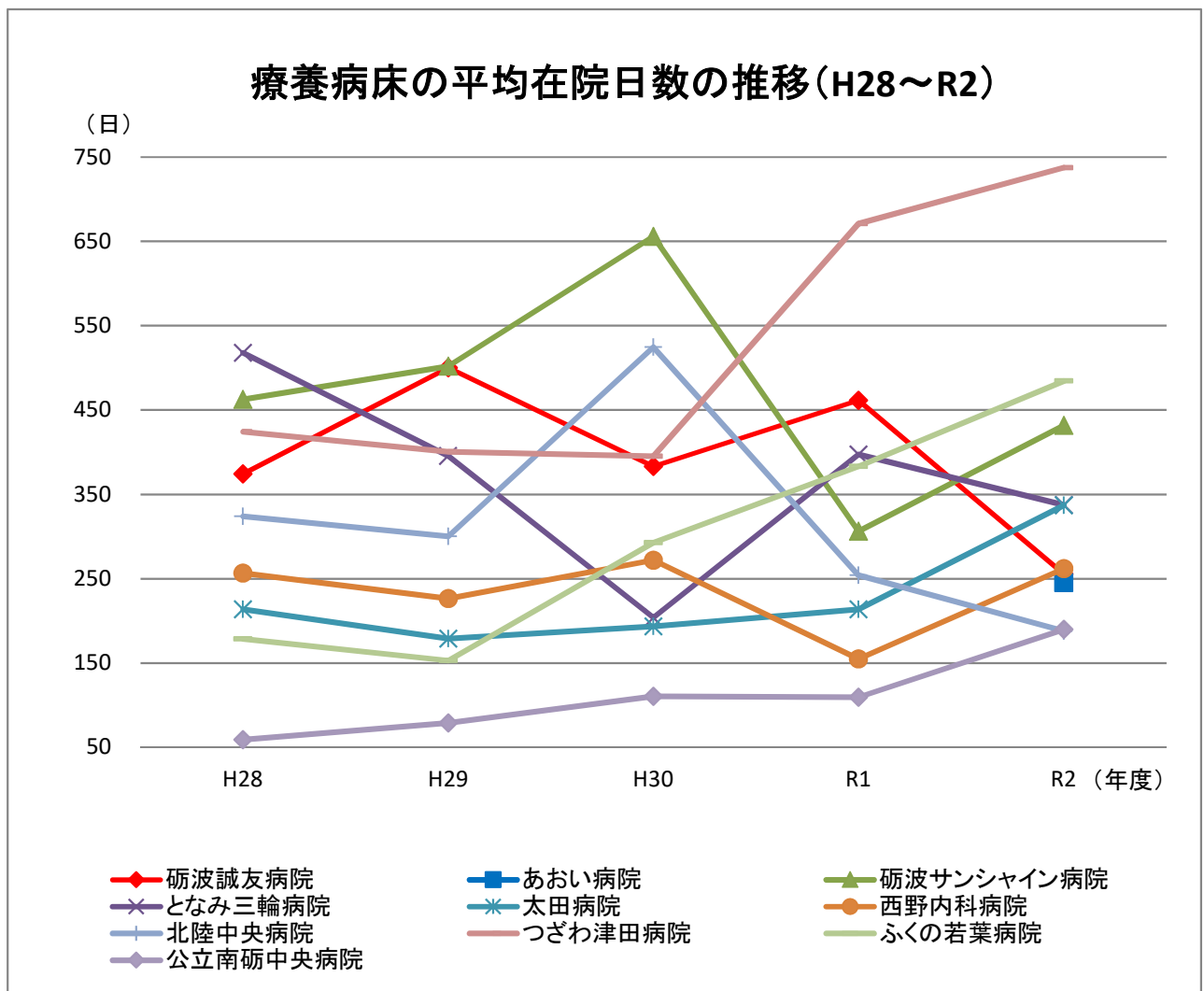
病床機能報告 (\* は病院報告)より  
 病床利用率は、年間在院患者数÷(稼動病床数×365日)



## 療養病床の平均在院日数の推移（H28年度～R2年度）

病院名	H28	H29	H30	R1	R2
砺波誠友病院	374.2	500.2	383.1	461.4	255.6
あおい病院					245.3
砺波サンシャイン病院	462.6	502.0	655.8	306.2	431.7
となみ三輪病院	517.9	395.5	203.9	397.4	337.5
太田病院	213.7	178.9	193.4	213.7	337.0
西野内科病院	256.6	226.3	272.0	154.7	262.0
北陸中央病院	323.8	300.1	524.6	254.1	187.9
つざわ津田病院	424.2	400.6	395.2	671.0	737.5
ふくの若葉病院	178.5	152.9	292.6	383.2	484.4
公立南砺中央病院	59.1	79.0	110.6	109.4	189.8

※とやま医療情報ガイド より





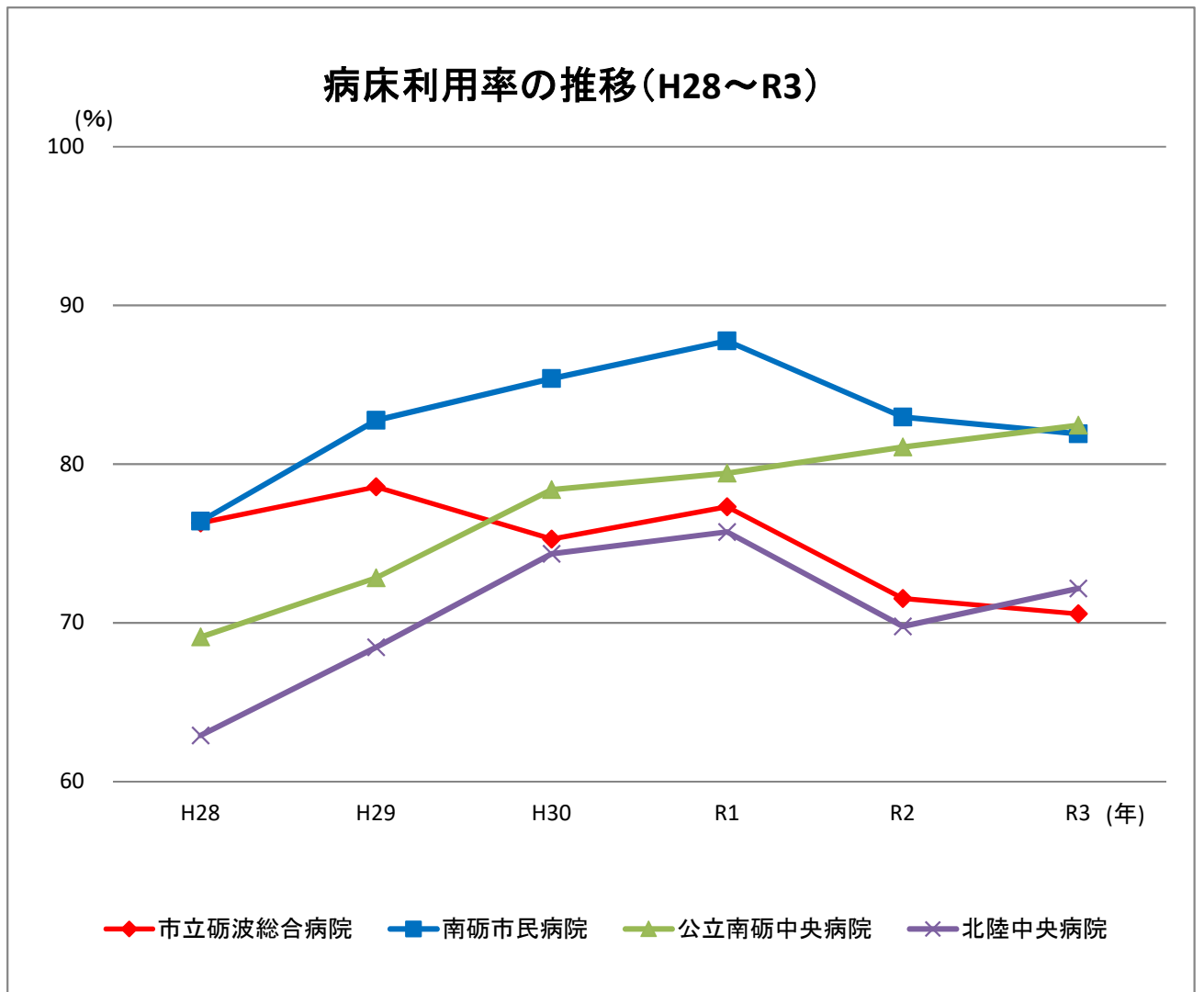
一般病床病床利用率推移 (H28～R3[各年7月～6月])

病院名	H28	H29	H30	R1	R2	R3
市立砺波総合病院	76.3	78.6	75.3	77.3	71.5	70.6
南砺市民病院	76.4	82.8	85.4	87.8	83.0	81.9
公立南砺中央病院	69.1	72.8	78.4	79.4	81.1	82.5
北陸中央病院	62.9	68.5	74.3	75.7	69.8	72.2
富山県	73.4	74.7	74.7	74.5	69.0	-

※病床利用率は、病床機能報告より砺波厚生センターで計算

※病床利用率＝年間在院患者数÷(稼動病床数×365日)

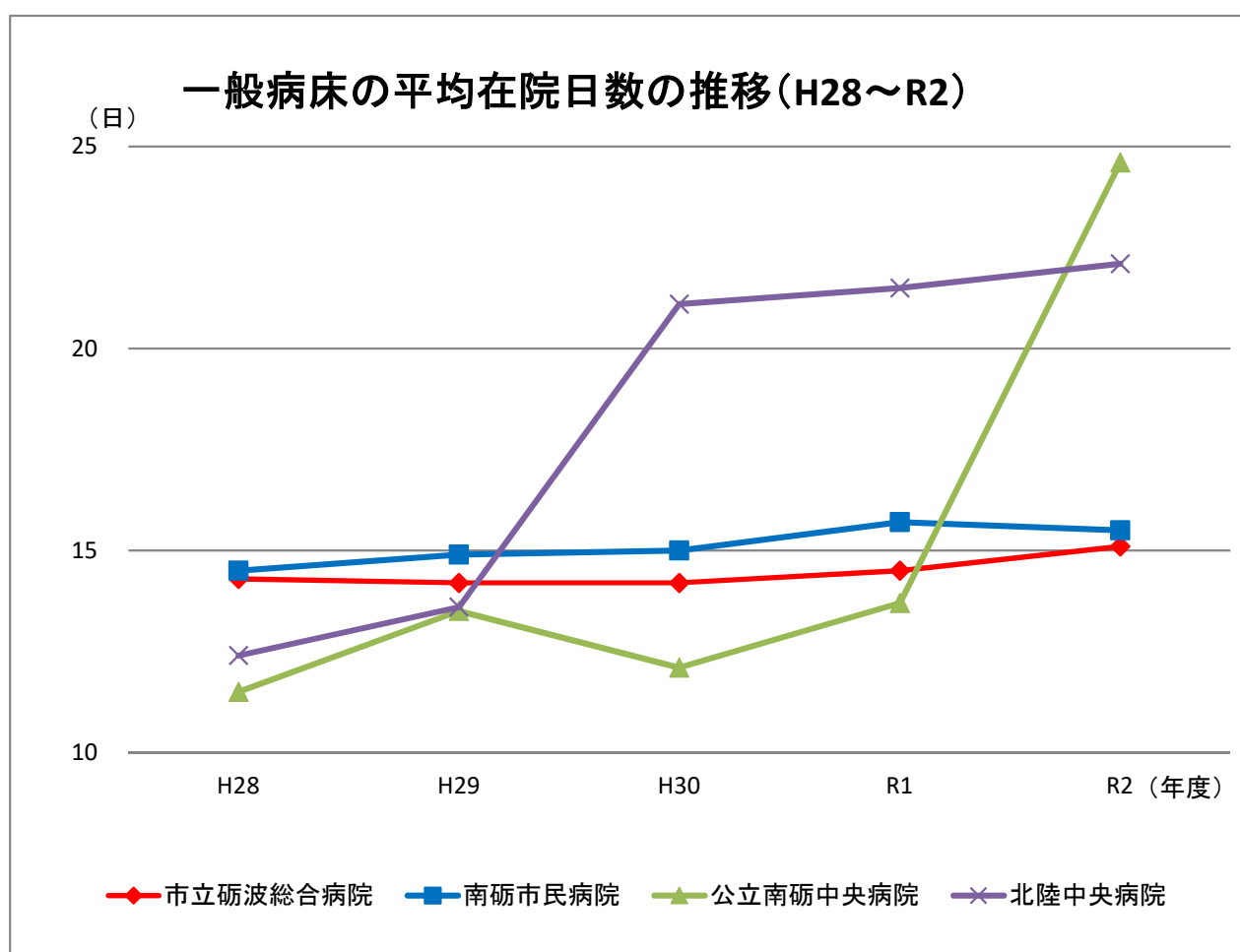
※富山県利用率は、e-Statデータより



## 一般病床の平均在院日数の推移（H28年度～R2年度）

病院名	H28	H29	H30	R1	R2
市立砺波総合病院	14.3	14.2	14.2	14.5	15.1
南砺市民病院	14.5	14.9	15.0	15.7	15.5
公立南砺中央病院	11.5	13.5	12.1	13.7	24.6
北陸中央病院	12.4	13.6	21.1	21.5	22.1

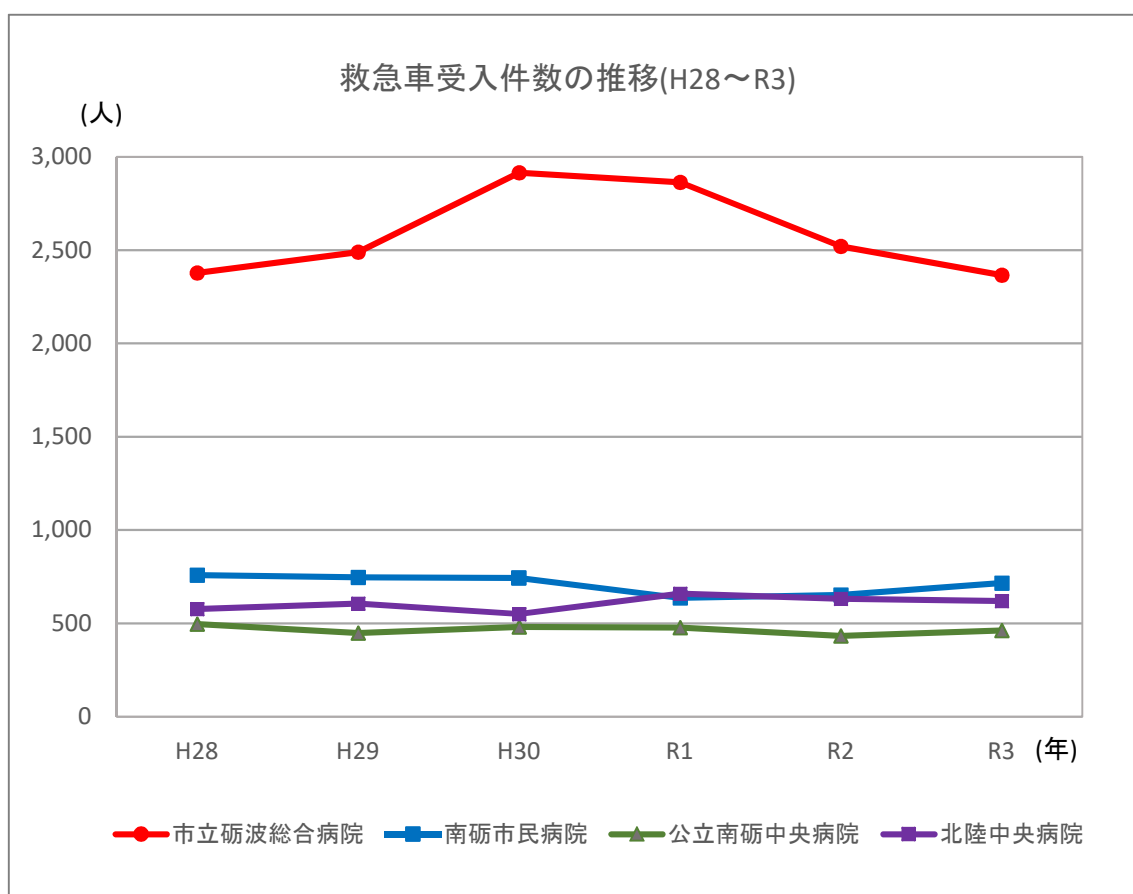
※とやま医療情報ガイドより



## 救急車受入件数の推移（H28～R3[各年7月～6月]）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3
市立砺波総合病院	2,379	2,489	2,915	2,863	2,520	2,366
南砺市民病院	758	747	743	636	653	715
公立南砺中央病院	496	448	480	477	432	461
北陸中央病院	576	606	550	659	631	619

※病床機能報告より

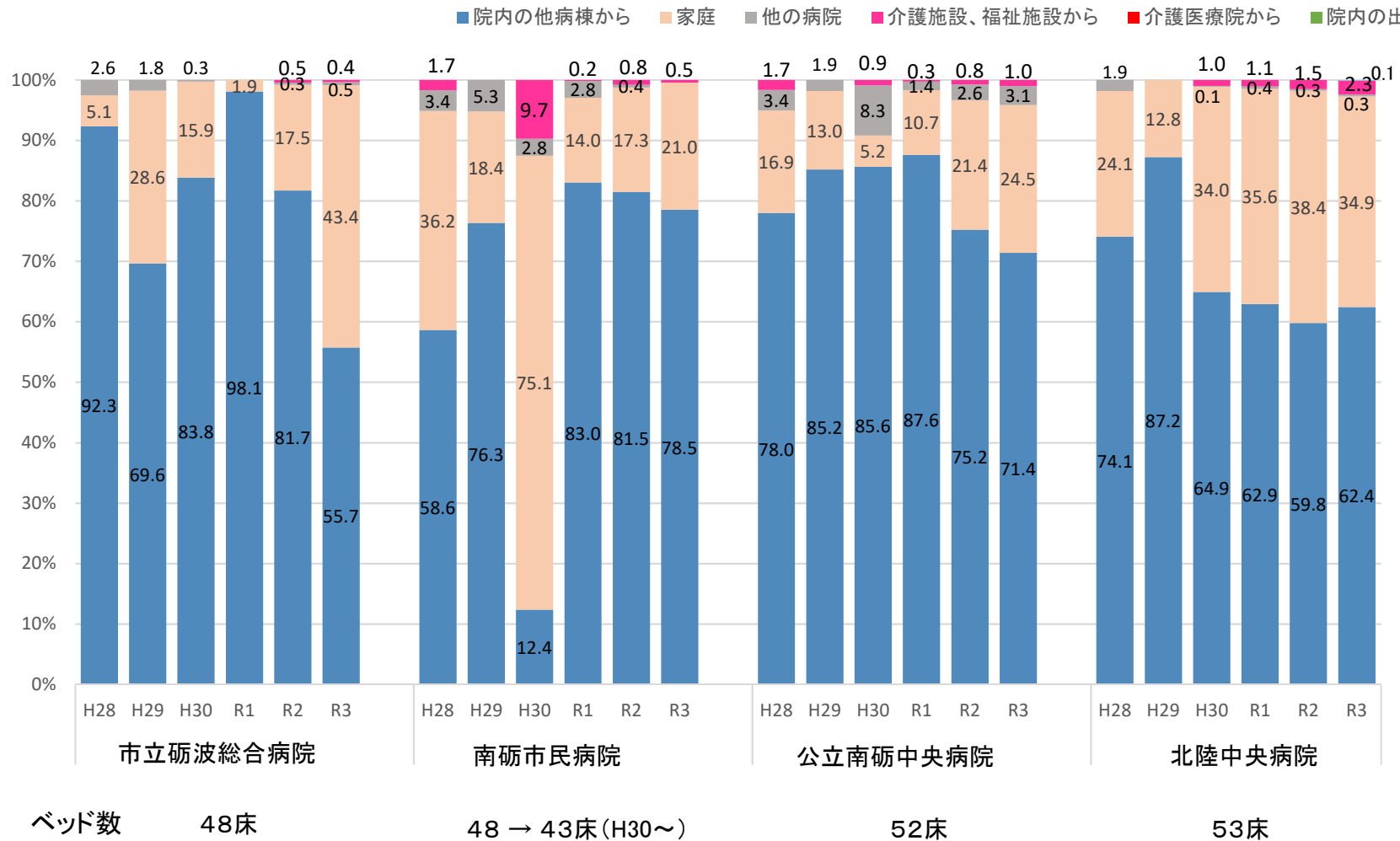




# 地域包括ケア病棟新規入棟患者の状況

## 1 入棟前の場所

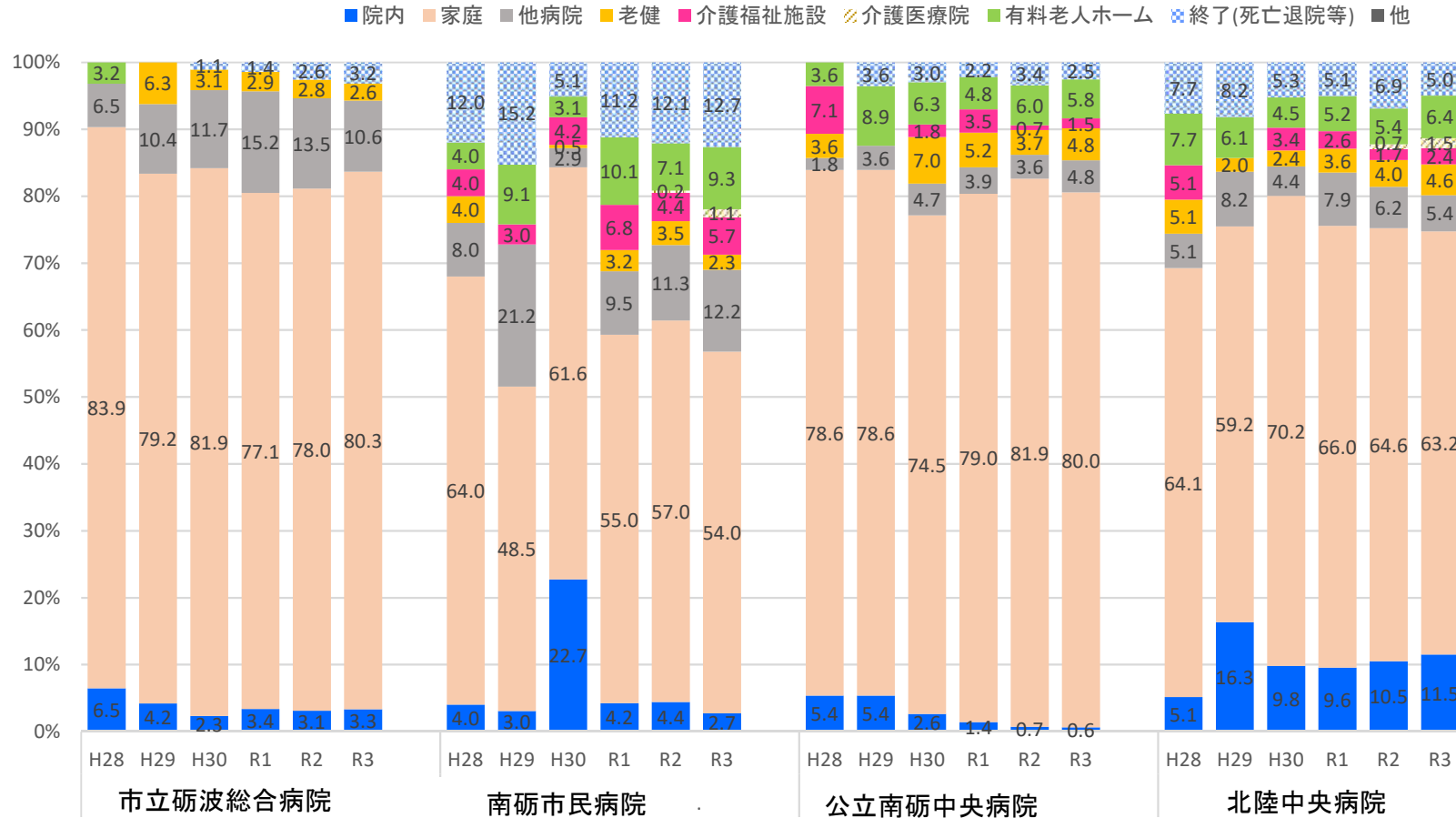
※H28・H29は、1ヶ月の件数による割合  
 ※H30～は、年間件数による割合



# 地域包括ケア病棟新規入棟患者の状況

## 2 退棟先の場所

※H28・H29は、1ヶ月の件数による割合  
 ※H30～は、年間件数による割合



## ■今夏の感染拡大を踏まえた病床確保計画

(令和3年11月25日策定)

医療圏	医療機関名	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	「500床規模」確保時
新川	黒部市民病院	16	16	50 〔うち重症3〕	50 〔うち重症3〕
	富山労災病院	10	15	30	30
	あさひ総合病院	—	2	4	4
富山	富山県立中央病院	15 〔うち重症4〕	30 〔うち重症4〕	70 〔うち重症10〕	70 〔うち重症10〕
	富山市民病院	23	41 〔うち重症2〕	50 〔うち重症4〕	50 〔うち重症4〕
	富山大学附属病院	8 〔うち重症6〕	22 〔うち重症6〕	52 〔うち重症8〕	52 〔うち重症8〕
	富山赤十字病院	10	19	19	35
	済生会富山病院	—	12	12	25
	厚生連滑川病院	—	3	5	20
	国立富山病院	—	5	5	5
	かみいち総合病院	—	2	4	4
	富山西総合病院	—	—	5	10
高岡	高岡市民病院	18	24	54	54
	厚生連高岡病院	2 〔うち重症2〕	2 〔うち重症2〕	35 〔うち重症8〕	35 〔うち重症8〕
	済生会高岡病院	—	5	15	25
	氷見市民病院	—	5	13	25
	射水市民病院	—	4	4	4
	高岡ふしき病院	—	4	4	4
	真生会富山病院	—	2	2	2
砺波	市立砺波総合病院	9	9	40 〔うち重症3〕	59 〔うち重症3〕
	南砺市民病院	—	6	6	6
	公立南砺中央病院	—	2	2	2
合 計		111 〔うち重症12〕	230 〔うち重症14〕	481 〔うち重症36〕	571 〔うち重症36〕

(※1)

※1 令和3年12月から増床

\* 重症者＝ICU等での管理、人工呼吸器又はECMOによる管理が必要な患者

フェイズ2移行 7月19日⇒ フェイズ3移行 8月5日







# 厚生連高岡病院 PET-CT 画像診断施設の現況

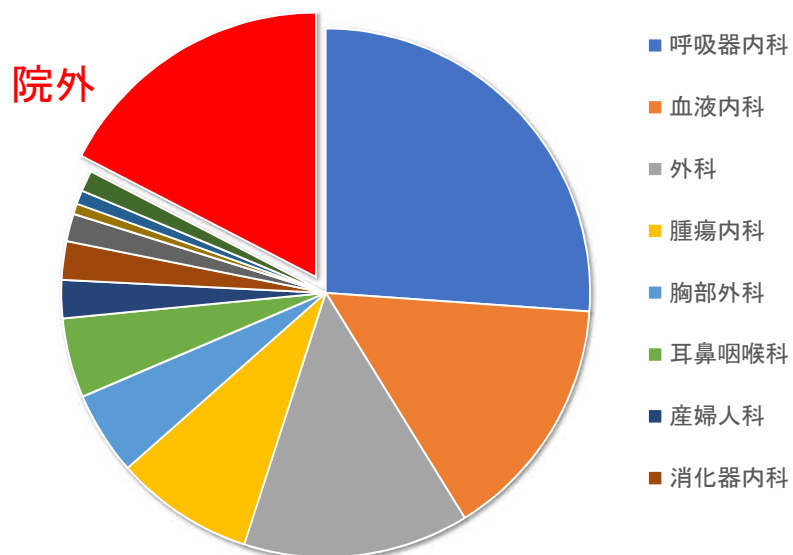
砺波地域医療構想調整会議

2022.9.28

## 背景

- 2022年4月1日 厚生連高岡病院に呉西圏域で初めてのPET-CT 画像診断施設を開設した
- 開設にあたっては、圏域内の各公的病院、がん診療病院に事前説明を行い、利用をお願いした
- 開設の際には、圏域内の医療機関を共同利用施設として県に届け出を行った
- 院外からの予約は開設と同時に開始、4月18日から院外患者の受け入れを開始した

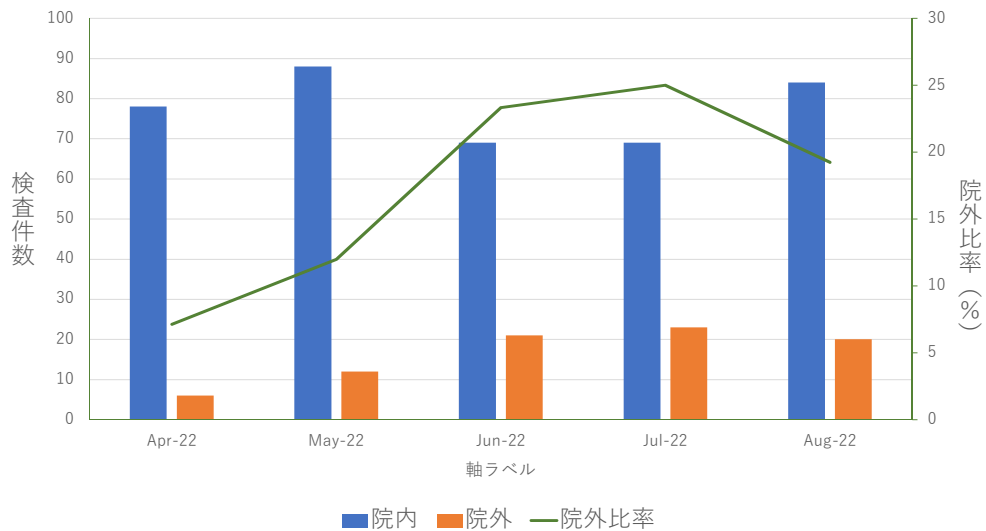
## PET-CT 稼働状況 2022/4-8



## PET-CT 稼働状況 2022/4-8

	4月	5月	6月	7月	8月
件数	84	100	90	92	104
院内/院外	78/6	88/12	69/21	69/23	84/20
稼働日数	20	19	22	20	21
件数/日	4.2	5.3	4.1	4.6	5.0
院内/院外	3.9/0.3	4.7/0.6	3.1/1.0	3.5/1.1	4.0/1.0

## 院内外別検査件数の推移 2022/4-8



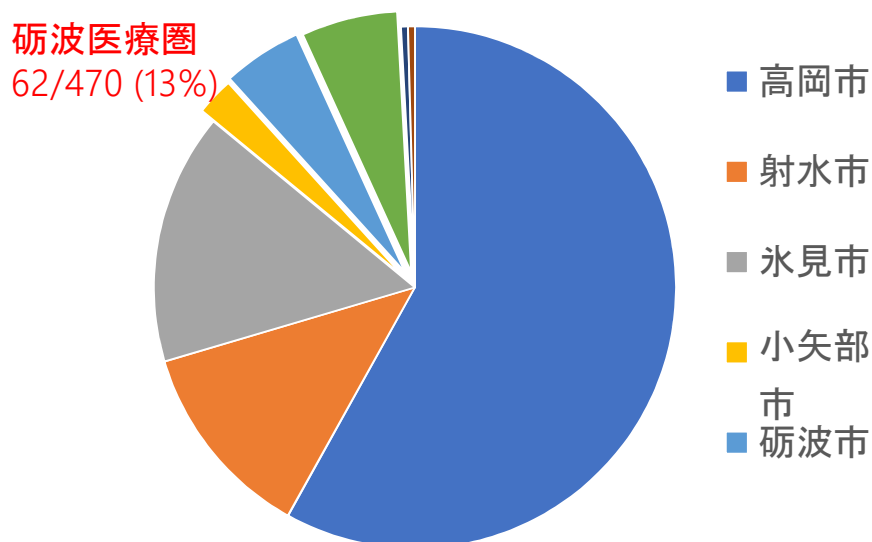
## 紹介元医療機関 2022/4-8

医療機関	件数
高岡市民病院	21
砺波総合病院	19
済生会高岡病院	11
金沢医科大学氷見市民病院	9
南砺市民病院	5
真生会富山病院	6
北陸中央病院	3
射水市民病院	1
高陵クリニック	3
平野クリニック	3
合計	81

砺波医療圏の病院  
27/81 33%

院内も含めると、  
27/470 6%

## 居住地別患者数 2022/4-8



## ご検討をお願いします

- すでに高岡医療圏では共同利用が定着し、砺波医療圏からの利用も増加している
- 呉西圏域全体から広くご利用いただいております、共同利用施設としての実績をつみかさねている
- 共同利用施設にふさわしい名称として、「呉西PETセンター」を提案し、その広告での使用をお認めいただきたい

➤施設名称： 厚生連高岡病院 呉西PETセンター